



# 法学部

Faculty of Law

法学部 Webサイト



中央大学受験生ナビ Connect Web





# 「行動する知性。」

-Knowledge into Action-

## Contents

- 02 Key information
- 04 法学部生に聞いてみた！  
センパイ100人にアンケート
- 06 法学部の学び  
法学部の学びについて詳しく解説。
- 08 法律学科
- 12 国際企業関係法学科
- 16 政治学科
- 20 教員紹介  
学生と教員の距離が近いのも法学部の特徴です。
- 22 法学部のグローバル教育  
世界で活躍する力をサポート。
- 24 法学部独自の全額給付型奨学金
- 26 キャリアサポートと将来の進路  
進路の不安や悩みも、細やかな指導で支えます。
- 28 諸分野で活躍する卒業生
- 30 茗荷谷キャンパスを徹底解剖  
キャンパスの魅力をご紹介します。
- 34 法学部長メッセージ



中央大学

## Key information

### 伝統の実学教育で新たな展開へ。

「社会のあるところに、法あり」といわれるように、私たちはさまざまな法的規制のもとで生活しています。複雑化する現代社会が抱える諸問題の解決のためには、法的な知識と思考のスキル、リーガルマインドに基づく問題解決能力こそ、世界を歩み、明日をつなぐ若者に欠かせない知性です。こうした時代背景のもとで、地球的な視野に立った法的問題意識と法的問題解決能力を備えた人材を育成し、実績をもって学びを深める環境を築くべく、2023年に「茗荷谷キャンパス」を開校しました。

詳しくはP.30をご覧ください

# 法学部生に聞いてみた!

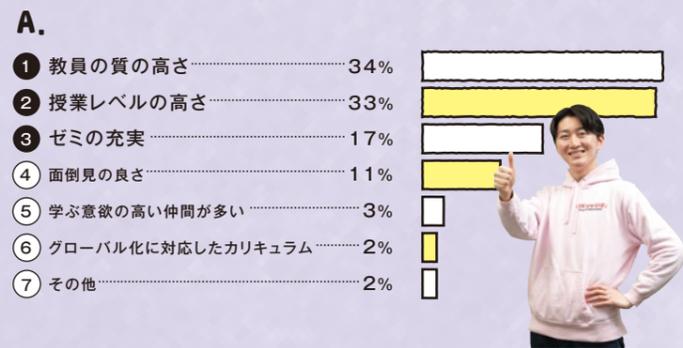
法学部での学びやサークル活動、茗荷谷キャンパスの魅力などをQ&A形式でご紹介!

**Students Navigator**

津田 夏希  
政治学科3年  
東洋英和女学院高等学校(東京都)出身

中野 皓太  
法律学科2年  
県立藤島高等学校(福井県)出身

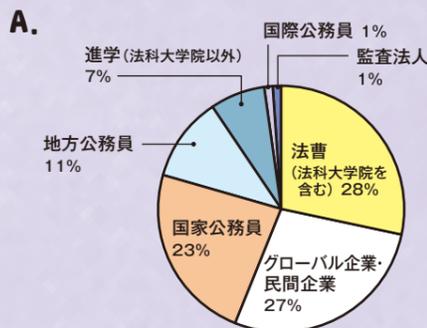
## Q.1 学びの面で一番の魅力は何だと思いますか?



教員紹介…………… P.20,21へ | 法学部の学び…………… P.06,07へ

## Q.2 目指す進路を教えてください。

目指す進路を教えてください。



### Pick up

目指す進路に向けての取り組み

#### キャリアセンター

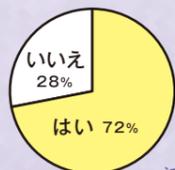
キャリアセンターでエントリーシートの書き方や面接の対策、卒業生名簿やインターンシップ情報の閲覧などが可能です。また、公務員講座をはじめ、セミナーや相談会も数多く開催しており、進学・就職活動を手厚く支援してくれます。

進路について…………… P.26,27へ

## Q.3 サークルや部活などに所属していますか?

サークルや部活などに所属していますか?

A. ……7割以上の方が何らかのサークルや部活動に参加しています。



スポーツ系部活動・サークル[一部抜粋]

[体育連盟]  
アメリカンフットボール部、ホッケー部、剣道部、バスケットボール部、サッカー部、応援部(リーダー部、チアリーディング部、ブラスコア部)、スケート部(アイスホッケー)、拳法部…他多数

[体育同好会連盟]  
ソングリーディング部、新体道棒術部、競技ダンス研究会、ハイキング部、かもしかスキークラブ…他多数

文化系部活動・サークル[一部抜粋]

[学術連盟] 法学会…他多数

[文化連盟]  
製菓研究会「銀月」、華道会、和太鼓サークル鼓中央、書道会、落語研究会、漫画研究会、音楽研究会(吹奏楽部、管弦楽部、リード合奏部、スウィング部)…他多数

[学芸連盟]  
ユースホステル研究会、古典ギタークラブ、フォークソング研究会、人形劇サークル「しゃぼん玉」、ポピュラーソング研究会…他多数

文化系 | スポーツ系 | 両方所属

## Q.4 先生との交流の機会はありますか?

A. ……あります。ゼミやハブ(茗荷谷スチューデントハブ)で先生と課外活動について相談したりしています。

茗荷谷スチューデントハブについて…………… P.31へ



## Q.5 茗荷谷キャンパスのお気に入りスポットはどこですか?

### 第1位 図書館

法学系の図書、雑誌を中心に収集している法学部図書館。施設内には、集中して学修できる自習室や、グループワークエリアもあります。



自習室1

### Pick up

蔵書検索・取り寄せシステム  
**CHOIS**

他キャンパスを含む中央大学の蔵書、または他の大学・研究機関にある資料など240万冊を超えるデータベースからオンライン検索、取り寄せなどが可能です。

### 第2位 学生食堂

銀座スエヒロが入ったこだわりのおいしい食堂。伝統と格式を感じるキレイな学生食堂の座席は312席。



日替わり、週替わりメニューで毎日飽きずにおいしいご飯が食べられるよ。クリスマスなどには特別メニューも!

### 第3位 ラウンジ

### 第4位 屋上庭園

### 第5位 茗荷谷キャンパス 学生研究フロア

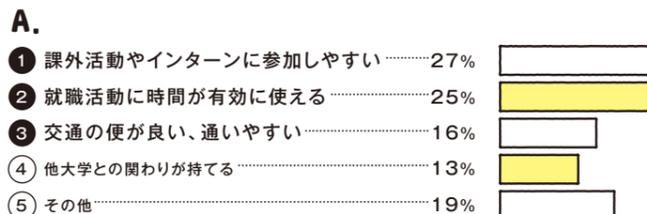


5F ラウンジ



屋上庭園

## Q.6 キャンパスが都心にあるメリットは何ですか?

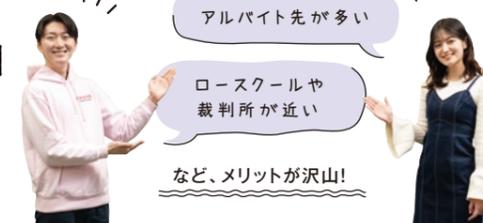


他にも、

アルバイト先が多い

ロースクールや裁判所が近い

など、メリットが沢山!



茗荷谷キャンパスについて…………… P.30へ

# 01. Study 法学部の学び

多様なニーズに応える3つの学科とコース制度

## 法律学科

- 法曹コース ● 公共法務コース
- 企業コース

定員882名 詳細はP.08へ

法律家は人権感覚や国際的素養を基礎に、社会問題を「自分の頭で」考えられなければなりません。そのため、法律科目だけでなく歴史・哲学などの幅広い教養やコミュニケーション能力、語学なども修得します。通常の講義に加え、1年次からは少人数のゼミ、実務法曹による講義、インターンシップ、課外の法職講座・公認会計士講座など、多様な授業を用意しています。

## 国際企業関係 法学科

定員168名 詳細はP.12へ

少人数教育に徹した環境のなかで、法と経済という二つの分野を深く理解し、地球規模で活動・活躍する、国際社会に認められるリーダーの養成をめざします。国際的な企業活動によって生じるさまざまな法律問題を中心に、多彩な専門教育科目を通じて、法律や経済の知識を修得します。同時に現代の国内・国際社会における企業の役割もしっかりと学ぶことができます。

## 政治学科

- 公共政策コース ● 地域創造コース
- 国際政治コース ● メディア政治コース

定員389名 詳細はP.16へ

政治とは社会の多様な利害や価値を調整・統合することです。身近なところに政治があり、そこに公共空間が生まれます。歴史や思想に学びながら、市民社会、ガバナンス、グローバリゼーション、ジェンダーなどの現代的課題に応えることが政治学の目的です。このような新しい潮流に即し、新しい視点から政治社会のあり方を考えていくためのカリキュラムを特徴とします。

### 実務家による実践的な授業

法曹・企業・公務で実際に活躍する実務家による授業を豊富に用意し、実務で求められる知識やスキルを理解しながら、卒業後に求められる能力を培うことができます。実際に実務経験を行うインターンシップ授業(法曹、行政)も、キャリア形成に役立ちます。



### グローバル化に対応できるカリキュラム

海外留学はもちろんのこと、カリキュラムのなかでも語学力や国際感覚を磨くための授業を豊富に用意しています。英語で行う専門科目の授業も数多く展開。留学生と机を並べて、国際比較の視点から専門的な知識を身につけることができます。



### 問題発見・解決力を培うゼミナールを1年次から実施

1年次

大学での学び方を修得

「導入演習」「法学基礎演習A」はほぼ全員が履修しており、1年次からしっかりと基礎固め、充実した初年次教育により学修の成果を高めます。



2年次

専門分野への入口

2年次では、「基礎演習」(法律・政治)「法学基礎演習B」(国企)で専門の基礎を固め、より深い教養を身につけていきます。



3年次

4年次

より高度な専門学修へ

多くのゼミは学科を問わず応募できます。幅広いテーマで100講座以上を開講しており、1学年15名程度の仲間と、自分の興味のあるテーマを探究し、徹底的に専門性を養います。



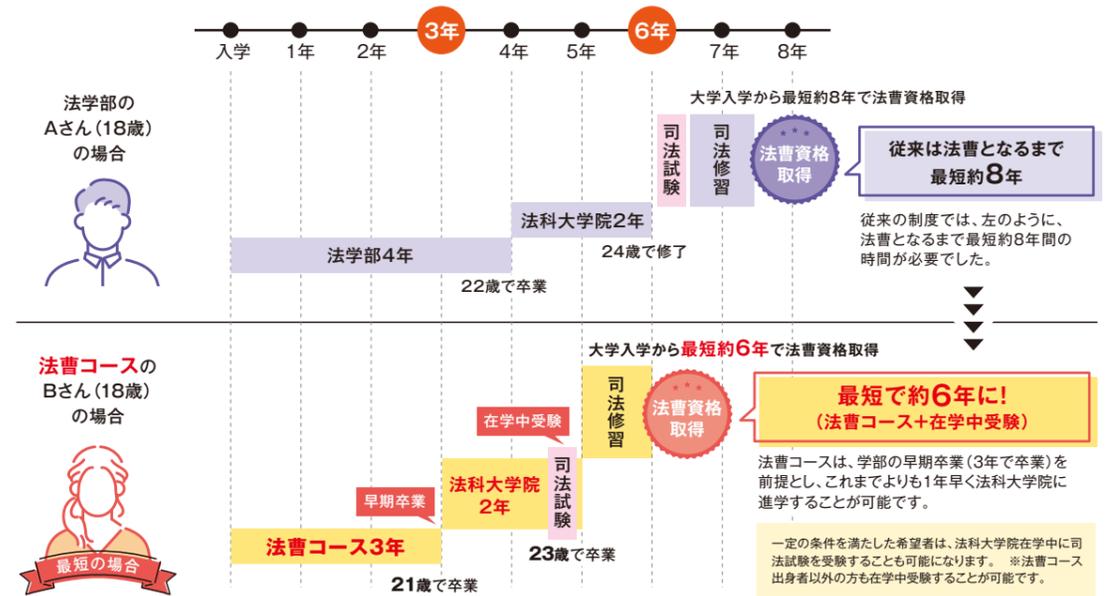
専門的な知識はもちろん、社会課題の多様化が進む現代では、自ら課題を発見し、多くの人と協調しながら、問題解決を導き出す能力が求められています。法学部では少人数・双方向型で行うゼミナールを1年次から展開しているため、問題発見・解決能力をいち早く伸ばすことができます。

## Pick up

### 法学部法律学科 法曹コース

# 3年間 + 法科大学院2年間の 一貫教育プログラム

中央大学法科大学院(ロースクール)との連携から、法学部を3年で早期卒業することをめざす「法曹コース」を選択することで、ロースクールに2年間に在籍している間に司法試験を受験することができ、約2年早く最短約6年で法曹資格を取得できます。



勉強時間が短くなる分効率はアップ!  
早期合格を目指す方へおすすめします

特にためになったのは実定法特講、法曹特講の授業です。毎週起案する習慣が身についたこと、実務家の先生に添削してもらうことで力をつけることができました。書き直し答案も作ることができ、司法試験前の見直しにも有効でした。また、法曹論や法曹演習の授業では実務家として役立つお話を聞くことができました。一貫教育プログラムでは、勉強時間が短くなる分集中して効率よく勉強を進めることができるので、サークル活動やアルバイトなど充実した大学生活を送ることができました。法律家になることを検討している方はぜひ利用してください。皆さんの合格をお祈りしています。

三輪 千紘 | 都立新宿高等学校(東京都)出身  
2022年度法律学科卒業  
[在籍大学院] 中央大学法科大学院

内定先 TMI総合法律事務所

# 法律学科 / Department of Law

法律を土台として、自分で考える力を獲得するために  
幅広い教養やコミュニケーション力も修得する。

人権感覚や国際的素養を基礎に、社会問題を「自分の頭で」考える力こそ法律家に求められる重要な要素です。  
法律科目に加えて、歴史や哲学などの幅広い教養やコミュニケーション力、語学力などを修得し、  
人と社会への理解を深めていきます。

## 学びの特色

法律科目だけでなく歴史や哲学など  
幅広い教養を修得

憲法・民法・刑法などの法律科目に加えて、一般教養や語学力の修得、ディスカッションやプレゼンテーションで培われるコミュニケーション能力の向上などを重視。人と社会を理解し、紛争の解決だけでなく、ビジネスや公務など幅広いフィールドで生きる力を身につけます。

「LAW & LAW」の教育  
学部を3年で修了し法科大学院をめざす

学部を4年で修了し、その後法科大学院へと進学するのが一般的な法曹への道となりますが、2019年度より期間を短縮し、最短期6年間で法曹資格取得をめざす制度を開始しました。いち早く法曹の道へ進み、社会で経験を積み重ねることが可能となります。

## 活躍をめざすフィールド

- 金融／メーカー／マスコミ等の幅広い一般企業
- 企業の法務部門
- ロースクールを経て法曹へ(弁護士・検事など)
- 公務員

## コース紹介

### ▲ 法曹コース

裁判官・検察官・弁護士などの法曹をめざす学生を主な対象としたコースです。憲法、民法、刑法など、「七法」と呼ばれる基本法律科目について深く学ぶことができます。

### ▲ 公共法務コース

公務員や各種機関の職員として公共政策に関わるための知識を中心に学びます。法律科目のほかに経済分野や政治分野の科目を通して、幅広い知識を培います。

### ▲ 企業コース

知的財産法や環境法などを含む先端法律科目や外国法など、ビジネスの世界で活用できる知識を中心として学びます。一般企業など幅広い分野で活躍できる人材をめざします。

法律家をはじめ同じ目標を持つ仲間が存在が

自分自身にとって大きな支えになります

## STUDENT'S VOICE

法律学科には同じ目標を持つ仲間がたくさんいるので、授業の履修の相談や資格試験の悩み事、そして日々の悩み事まで相談する相手に困りません。頼れる仲間が存在は自分自身の支えになります。判例や基本書には法律専門用語が多く、初めは文章読解に苦労しましたが、学び進むうちに読解スピードを上げることができました。卒業後は東京大学ロースクールに進学しつつ、令和6年度(2024年)の司法試験合格に向けて勉強を続けていきます。現時点での将来の目標は、まずは司法試験に合格すること、そして企業法務を取り扱う弁護士になることです。

### 4年 登坂 玲央

茗溪学園高等学校(茨城県)出身

進学先 東京大学法科大学院

2023年度 司法試験予備試験合格

## PICK UP

法律実務家の体験を交えた講義や模擬裁判など、  
実践的な授業を展開

「法曹論」では、法律実務家の体験談を通じて、法律家の仕事の具体的なイメージを高め、法律家が社会で果たす役割について理解を深めます。授業では、キャンパス内に模擬法廷を構築し、現職の法曹による模擬裁判を実施しています。



## 学びの特色

「法学入門」などを通して、社会における法律の役割や価値を学びながら、法律に関する基礎的な知識を固めていきます。2年次より3つのコースに分かれて、将来の目標や一人ひとりの関心に合わせた学びを展開。1年次から培うキャリア意識と合わせて、卒業後のキャリアを見据えながらより高度な知識・知恵を涵養します。

### 1年次

学科共通の科目を学修し、  
自らの学問的興味・関心や、  
キャリアデザインについて考える

#### 科目例

- 「導入演習」  
少人数のゼミで大学学修の基本と技法を学ぶ
- 「法解釈演習」  
法的思考の仕方を具体的に学ぶ
- 「法学入門」  
法の意義や役割について考える
- 「民法概論・総則A」  
人と人との法律関係—私法の学びの出発点
- 「犯罪と刑罰」  
刑事法を支える基本的な考え方を学ぶ
- 「法曹論」  
専任教員および現職の法曹三者（弁護士、検察官、裁判官）が担当する
- 「法曹演習」  
現職の法曹（弁護士、検察官、裁判官）によるゼミ  
現実の法曹の世界を知る

### 2年次

コース科目の  
学修が  
スタート

#### 法曹コース\*

#### 公共法務コース

#### 企業コース

2年次より将来の進路にあわせ「法曹」「公共法務」「企業」のなかから1コースを選択。どのコースで学ぶかは、入学後1年間じっくり時間をかけて考え、2年次から各コースでの学修がスタートします。

- 「債権各論」  
各種の契約や不法行為などに関するルールを学ぶ
- 「憲法2（統治）」  
統治（政治制度）に関する基本問題を考える
- 「企業法総論」  
さまざまな企業活動の基礎となる概念を検討する
- 「実定法基礎演習」  
基本書を読み、具体的な事例を検討することで、憲法・民法・刑法などの基礎力を向上させるための少人数ゼミ
- 「基礎演習」  
少人数のゼミで法・政治・文化・歴史などの基礎を学ぶ

※法曹コースには「一貫教育プログラム」があります。学部での成績など必要な基準を満たした場合に、3年間で学部を卒業し、入試に合格した法科大学院の既修者コースに進学することができます。

### 3・4年次

「七法」と呼ばれる憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、商法、行政法を中心に関連法分野を学びます。

基本的な法律科目である憲法、民法、刑法、行政法などに加え、行政学、財政学などの経済系や政治系の分野について学びます。

主にビジネスの世界で重要となる民法、会社法、労働法、環境法、知的財産法や、必要性が高まっている外国法などを中心に学びます。

- 「民事訴訟法」  
民事紛争解決のためのルールを学ぶ
- 「労働法（個別的労働法）」  
雇用契約における労働者の権利を学ぶ
- 「実定法特講」  
判例を精読することにより、具体的な事実に即した法律の解釈を学ぶ
- 「法曹特講」  
弁護士より実践的な観点からの指導を受けることで、争点の抽出、分析、論文作成能力の向上を図る
- 「地方自治法」  
地方自治の基本原則と地域的統治の手法を具体的に把握する
- 「行政救済法」  
国民の権利利益の保護と行政活動の是正のための法制度を学ぶ
- 「知的財産法」  
著作権法・特許法・商標法を中心に、知的財産法制度について概観する
- 「環境法」  
環境問題解決のための原則や法制度を学ぶ
- 「犯罪学」  
犯罪の原因と発生のメカニズムを学ぶ
- 「専門演習」  
少人数のゼミで専門学修を行う

#### 卒業後の進路

法曹（法科大学院）

公務員

民間企業

## 中央大学法学部生としての誇りと自信を胸に 4年間の学びを将来へつなげていきたいです

法学への関心が芽生えたのは中学時代、本学の法科大学院を見学したのがきっかけでした。法律の条文や事例をもとに学生自ら考える授業の中で、一つの条文に十人十色の解釈があることを面白く感じたのです。その体験から法律学科へ進学、日々の講義を通して身につく法知識により、普段目にするニュースの理解度が上がりました。民事訴訟法を学んでいる時に、そこに該当する事件が起こるなど、学びと実社会がリンクするところが法学の意義深いところであり、日常のいたるところに「法が在る」ことを再認識することができます。卒業後は損害保険会社へ就職しますが、法学部での学びは仕事でも役立つと思います。

4年 岐部 晴香 | 中央大学附属高等学校（東京都）出身

内定先 東京海上日動火災保険株式会社



## 法律の知識を「盾」として 人助けができる弁護士になりたいです

法の達人から学問を教わることができる点が法律学科の魅力です。各分野のエキスパートである教授陣や法曹実務家から直接指導をしていただくことができます。達人のもとで、学問の奥深さや面白さを学び、自分のものにできれば、とても有意義な4年間になるでしょう。人は自分が思う以上に周囲の影響を受けます。法律家を目指す友人が多くいる環境下に身を置かなければ、私自身、勉強のモチベーションを保ててはいなかったと思います。法律や法曹界に関心がある方は、ぜひ中央大学法学部で切磋琢磨してください。卒業後は東京大学法科大学院へ進みます。目標は弁護士、法律の知識を「盾」に、人助けできるよう努めてまいります。

4年 荒木 慎太郎 | 県立熊本高等学校（熊本県）出身

進路先 東京大学法科大学院



# 国際企業関係法学科 / Department of International Law and Business

グローバルな視点を通して法と経済を学び  
地球規模での課題解決能力を身につける。

法と経済の知識を併せ持ち、地球規模で活躍できる、国際社会のリーダーを育成。  
グローバル社会における企業活動で生じる法律問題を軸として  
法律と経済の両面から、企業が果たす役割と価値について理解を深めていきます。

## 学びの特色

少人数教育で丁寧な学びを実現  
一人ひとりの個性を将来につなげる

法律と経済という二つの領域の専門的かつ実践的な知識を培うため、学科では1年次からはじまるゼミナール形式の「法学基礎演習」をはじめとして、少人数体制による丁寧な教育を実現。幅広いキャリアの可能性の中から、一人ひとりの関心に合った進路を描くことができます。

法と経済に加え、外国語の修得にも注力  
世界を見据えた未来の人材へ

グローバル化の進む社会で活躍するには、専門知識はもちろん、異文化への理解や語学力も欠かせないスキルとなります。1年次から充実した外国語教育を展開し、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を中心として、世界で活動するための必須技能を身につけます。

## 活躍をめざすフィールド

- 金融／メーカー／マスコミ等の幅広い一般企業
- 企業の法務部門
- ロースクールを経て法曹へ（弁護士・検事など）
- 外資系企業やグローバルに事業を手掛ける国際企業
- 公務員
- NPO／NGOをはじめとする各種国際機関など

## PICK UP

英語で専門分野を学ぶ授業を展開  
留学生との交流を通して視野を広げる

語学力だけでなく、国際感覚や異文化理解を磨くために、法学部では国際企業関係法学科を中心として、法と社会の関係について、国際比較の視野で学ぶ専門総合講座「日本法入門／比較憲法」など、留学生とともに学ぶ機会や英語で専門科目を学ぶ機会を豊富に用意しています。

「戦争はなくならないかもしれないが

戦争の悲惨さはなくせるかもしれない」

## STUDENT'S VOICE

戦争や内戦など紛争解決の知見を深めるために、国際法や国際政治学を学ぶことができる国際企業関係法学科へ進みました。民族紛争と平和構築の関係について学んでいます。4年間を通して成長を実感するのは、「法の外から法を眺めることで、法の役割を改めて考えさせる学びを得られた」ことです。大きな機会は「国際インターンシップ」と、やる気応援奨学金制度を利用して臨んだイギリスへの長期留学でした。卒業後は、東京大学大学院に進学し、学びを深め、いずれは国連職員の立場からそれらの問題の解決に尽力したいと考えています。

### 4年 山本 悠雅

札幌第一高等学校（北海道）出身

進学先 東京大学大学院



## 学びの特色

法と経済を学び、実践的な学びを重視するヨーロッパの大学のカリキュラムに最も近いカリキュラムを設置。

国の枠組みを超えて動く経済についての知見と法律学の専門的知見を修得でき、留学を希望する学生や、グローバルな視点で学びたい学生のニーズにも応えます。

## [ 修得できる3つの力 ]



1年次	2年次	3・4年次
<b>現代社会と法学・社会科学の接点に触れる科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「民法総則・物権総論」 具体的な事案により民法総則と物権総論を修得する</li> <li>■「ミクロ経済学」 ミクロ経済学の体系的な知識を修得する</li> <li>■「比較法文化論」 異文化間コミュニケーション能力を法律学の視点から体得する</li> <li>■「外交と国際法」 外交と国際法の相互作用や事例を理解する</li> </ul>	<b>法学・社会科学の専門性を深める科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「企業法総論」「企業取引法」 商法・会社法など企業に関する法を学修する上での基礎的理解と知識を獲得する</li> <li>■「マクロ経済学」 マクロ経済学の体系的な知識を修得する</li> <li>■「国際法総論」 国際法の歴史および現代国際法の主体や、その形成と適用について学ぶ</li> <li>■「平和学」 秩序と正義の関係や国際事象を身近な問題として捉え、問題の原因と解決策を考察する</li> </ul>	<b>法学・社会科学の応用展開を図る科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「経済法(独占禁止法)」「経済法(経済規制法)」 公正かつ自由な競争のための法的規制として、独占禁止法や規制改革について学ぶ</li> <li>■「開発の国際法」 国際社会の開発問題への取り組みの歴史や南北問題への国際法学のアプローチを学ぶ</li> <li>■「企業財務論」 リスクを考慮した判断・意思決定・評価について基礎と実践の面から学ぶ</li> <li>■「財政学」 財政分析の一般的枠組みや租税政策、公共支出、社会保障および財政政策・財政再建について学ぶ</li> </ul>
<b>進路別に体系化された科目群</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済社会分析 (企業関係)</li> <li>国際社会分析 (国際関係)</li> </ul>		<b>卒業後の進路</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業 外資系企業</li> <li>公務員 国際公務員</li> <li>法曹 (法科大学院)</li> </ul>

継続した能動的学修・外国語学習科目

- 「海外スタディツアー」
- 「短期海外プログラム」 現実の社会秩序や課題解決と法の関係について学び、長期休暇中に短期の海外研修を行う。

<b>グローバル社会と法・演習</b> 少人数のゼミで法学部における学修の基本と技法を学ぶ 英語 Reading Inquiry-Based Interactive Learning Project-Based Learning より高度な英語能力と英語で学ぶ能力を養う	<b>法学基礎演習A</b> 少人数のゼミで法学部における学修の基本と技法を学ぶ	<b>法学基礎演習B</b> 少人数のゼミで各種法領域の基礎を学ぶ	<b>専門演習</b> 少人数で専門学修を行う 英語 選択 外国語 上級英語 上級ドイツ語 上級フランス語 上級中国語
--	---	--------------------------------------	--

より深く学びたい人のための「インテンシブ・コース」あり  
 ドイツ語 フランス語 中国語

## 地域から全国を巻き込んでいくような報道を粘り強く探求し続ける記者になりたいです

本学の卒業生である瀬谷ルミ子さんの著書『職業は武装解除』に出会ったのは高校生の頃、出生地によって「有する選択肢」が異なることに疑問を抱いた私は、人権および選択肢を奪う紛争を解決する手立てを学ぶため、国際企業関係法学科へ進学しました。ジャーナリズムゼミでは企画から取材、撮影、映像編集まで行いました。加えてFLPの国際協力ゼミ、インターンシップ体験を通して地方の多文化共生に関わっていきなりたいという思いが新たに生まれました。卒業後は地方のテレビ局へ入社します。地域から全国を巻き込んでいくような報道を探求する記者として、あきらめず、粘り強く挑戦を続けていきたいです。

4年 久保田 優果 | 中央大学杉並高等学校(東京都)出身

内定先 株式会社テレビ熊本



## 周囲の国々との関わりを大切にしながら日本の平和・独立の維持に貢献したい

かねてから外交官を志していた私は、1年次から国際法を履修できること、そして卒業生の主な進路に外務省と記されていたことに強い魅力を感じ国際企業関係法学科へ進みました。これまで国際法について学びを深めてきました。日々の学びを通じて養われる論理的思考力により、問題を解決する力、状況を分析する力、他者の気持ちを考える力がついたと感じています。これは法曹や公務員に限らず、どの職種においても求められます。国際秩序が動揺する今、外務省に入省後は、安全保障、経済、広報文化など多様なツールや周囲の国々との関わりを大切に、日本の平和・独立の維持に貢献したいと考えています。

4年 甲斐 詢也 | 県立浦和高等学校(埼玉県)出身

内定先 外務省



# 政治学科 / Department of Political Science

誰もが幸せに暮らすことのできる社会をめざして  
歴史や思想のなかから現代社会の課題を紐解く。

多様な価値観を調整・統合し、より良い社会をつくるのが政治の目的です。市民社会、ガバナンス、グローバリゼーションといった現代的課題と向き合い新しい視点から政治社会のあり方を考える知識と素養を身につけます。

## 学びの特色

### 現代社会のさまざまな社会課題を 学びのテーマとして追究する

変化する時代のなかで政治を学ぶには、新しい潮流や社会課題に対して感度を高め、知識をアップデートすることが重要です。政治学科では「NPO・NGO論」「平和学」「環境政治論」「ダイバーシティと社会」など、時代にふさわしい知識と考え方を学ぶ科目を多数設置しています。

### 地域と連携して動ける人材に求められる 実践力とコミュニケーションを培う

統治（ガバナンス）を学ぶうえで、地域社会やそこで暮らす人々への理解と協調は欠かせません。実際の地域を対象とした社会調査や地域と連携したプロジェクトなどに加え、実務家から学ぶインターンシップを通して、卒業後に役立つ実践力を培うことができます。

## コース紹介

### 公共政策コース

主に公務員をめざす学生を対象としたコースです。公共政策に関わる科目と、関連法規を中心に学んでいきます。

### 地域創造コース

地域政治や都市政策を中心に、地域創生に関わるために知識を修得し、地方公務員やコミュニティビジネスといった舞台をめざします。

### 国際政治コース

国際公務員やグローバルビジネスでの活躍をめざすコースです。国際政治や国際法を中心に、世界に通じる知識を修得します。

### メディア政治コース

主にジャーナリストや情報産業をめざす学生を対象としたコースで、政治や社会とコミュニケーションの関係性を学びます。

## 活躍をめざすフィールド

- 金融／メーカー／マスコミ／IT企業等の幅広い一般企業
- ジャーナリスト・メディア産業
- 公務員（国家公務員・地方公務員・国際公務員含む）

## PICK UP

### 自治体を支える制度や仕組みを 実務経験者のリアルな声から学ぶ

専門総合講座「自治型社会の課題」では、実務経験をもつ講師による授業で、制度・政策の基本的な内容や、実際に自治体が抱える課題とその対策を学びます。このような実践的な授業を通して、法学・政治学の理論を社会に適用し、自ら解決策を考える力の獲得をめざします。

大学で培った複眼的な視点と

柔軟な思考力で

「地域のために何ができるのか」を考えたい

## STUDENT'S VOICE

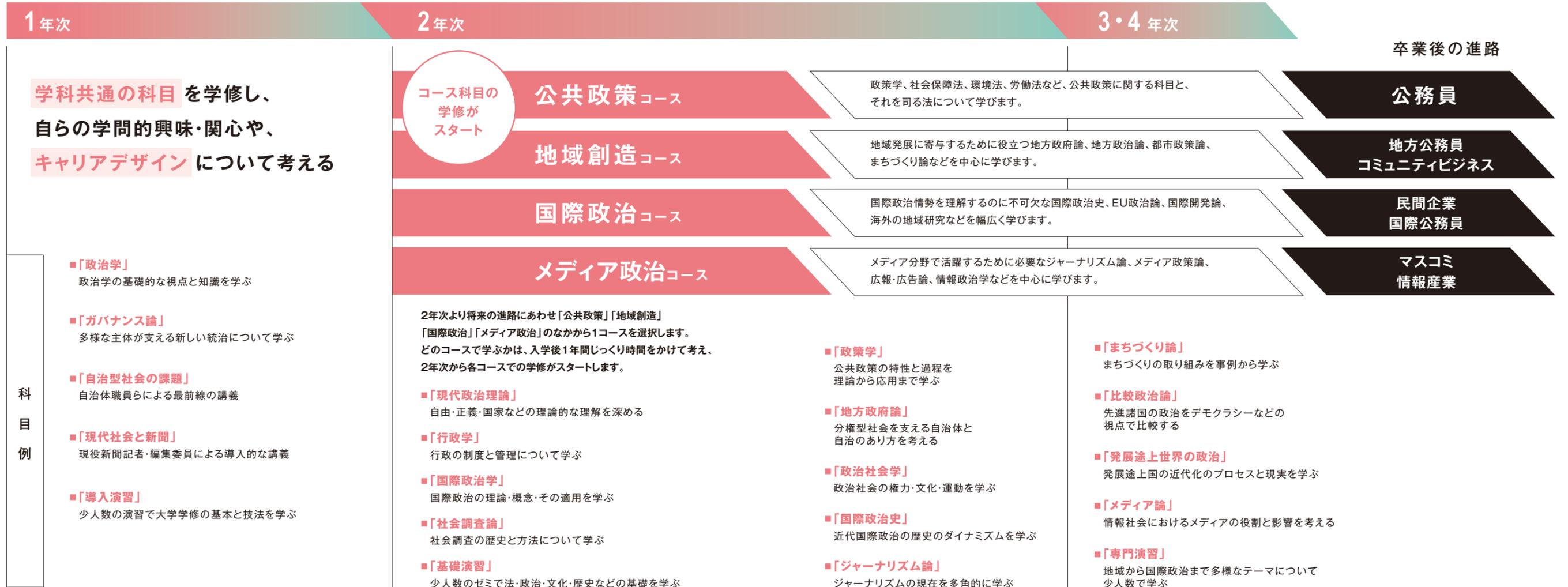
「政治学や地方自治を学びたい」×「公務員になりたい」という思いから、政治学科を選びました。コース選択をはじめ、自身の関心にマッチした学修・研究が可能な環境と、公務員試験に強いブランドは非常に魅力的でした。科目やゼミの設置数も多く、さまざまな切り口から政治・社会について理解を深めることができるのが政治学科の特徴です。幅広い学問領域の中から私が出会ったのは「地域政策」。その出会いが、学修意欲の向上につながり、進路を選択する際のカギになりました。卒業後は地方自治体の職員として、豊かなまちづくりに尽力してまいります。

### 4年 安田 敦貴

都立国分寺高等学校（東京都）出身

内定先 東京都庁

「政治学」などを通して、社会における政治の役割や機能の概論を学びながら、現代のさまざまな社会のあり方について、理解を深めていきます。2年次より4つのコースに分かれて、将来の目標や一人ひとりの関心に合わせた学びを展開。各コースでより特化した専門的な知識を学び、スペシャリストとしての素養を培っていきます。



一つの問題を考察する際に  
さまざまな切り口から検討する力が身につきました

私が特に力を入れて学んだ分野の一つが福祉国家のあり方についてです。スウェーデンやアメリカなどの福祉の事例を学ぶ「比較政治学」や日本の福祉政治の変遷を学ぶ「政治過程論」等を履修しました。法学部の学びを通して成長を実感するのは、論理的に考え、伝える力を養成できたことです。法学を通じて規範を定立した上で具体的に考える法的な思考過程を、政治学を通じて比較や批判的検討をする思考方法が身につきました。将来は、世の中の紛争に向き合い、個別具体的な紛争の解決に取り組みたいと考えています。政治学の学びを活かして、立法にも携わりたいので法科大学院への進学を決めました。

4年 **渡邊 奏波** | 県立大垣北高等学校(岐阜県)出身

進学先 **東京大学法科大学院**



報道に携わる者としての心構えなど  
これから働く上でも大切にしていきます

政治学科の魅力は、必須単位が少なく、興味関心に合わせて授業を組めることです。また、法律・政治・国際関係など幅広い分野を学ぶことができます。特に3年次に受講したジャーナリズム論は、報道機関を進路の一つとして考えていた私にとって、「報道に携わるとはどういうことなのか」を深く考える契機となりました。一つの事象に対しても、各領域によって見解やアプローチが異なってくることを学び、常にさまざまな視点から捉えるよう意識するようになりました。卒業後は放送業界に就職します。一人でも多くの人に、「社会で起きていること」を考える“きっかけ”となるような番組を制作していきたいです。

4年 **松本 拓人** | 芝浦工業大学附属高等学校(東京都)出身

内定先 **株式会社テレビ朝日**



# 02. Faculty 教員紹介

中央大学法学部教員紹介Webサイト  
<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/teacher/>



法の学びは、人間と社会を学ぶこと。決して堅苦しい話だけではありません。  
 教員も懐深い方々ばかりです。ここでは、そんな法学部の奥深い教員と授業の一部をご紹介します。



### ゼミ形式を活かした行政法学修の土壤生成

調査官解説や専門文献を渉猟し修得した知識をもとに報告・議論することを通じて、判例と行政法学を架橋する基盤を培いました。

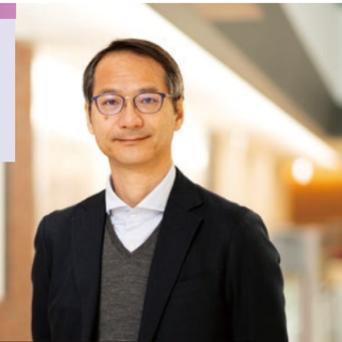
**権代 大地** 法律学科4年 / 県立米子東高等学校(島根県)出身

### ■ 行政法特講 行政法の重要論点と判例

行政活動をめぐり生ずる多様な紛争を取り上げ、それら紛争に関する判例において行政法理論がいかに用いられているのかを学ぶことにより、行政法理論の修得とその応用力の涵養を目指します。

**徳本 広孝**  
Tokumoto Hiroataka  
教授

行政法



### 英語で専門科目を学ぶ基礎を築く

各自の探求心が重視されるこの科目では英語力はもちろん、法律に関する発見や社会問題について考えるきっかけも得られました。

**近藤 勇** 法律学科3年 / 県立千葉高等学校(千葉県)出身

### ■ 外書講読

法学に関する英語の文献を読み解くための基礎力を養う授業です。それぞれの解釈を持ち寄って議論します。

**小室 夕里**  
Komuro Yuri  
教授

英語学・辞書学



**森 光**  
Mori Hikaru  
教授

ローマ法

### ローマ法の昔から人間の本性は同じ

法がさまざまな人間の営みの集積だということを再認識し、有機的な法知識を身につけることができます。

**曾根 理子** 政治学科4年 / 金城学院高等学校(愛知県)出身

### ■ ローマ法

法学は古代ローマに発祥しました。この講義では、原点に立ち返り、法学とは何かを考えていきます。



**富田 真紀**  
Tomita Maki  
教授

国際教育開発

### 国際的、国内的平面で考える視座が涵養されます

国際機関の専門家などにインタビューし、各自一つの国際労働問題について1年間研究する授業です。

**遠藤 瑞季** 国際企業関係法学科4年 / 晩中学高等学校(三重県)出身

### ■ 短期海外プログラム (ILOリサーチプログラム)

文献調査や講義を通してILOの理念や活動、国際労働基準について学び、ILOの専門家に直接アドバイスを頂きながら、自らの設定した途上国の労働問題に関するテーマについて研究・分析します。



### 身近な問題を改めて考えられる良い機会でした

マスメディア、インターネットを用いた政治問題など、自分の身近にある問題に改めて向き合うことで広い視点から物事を見られるようになりました。

**粟飯原 未知** 政治学科4年 / 江戸川女子高等学校(東京都)出身

### ■ メディアコミュニケーション論

現代の政治や世論形成を、メディア報道やネット上のコミュニケーションの動きに着目して理解するための授業です。

**高橋 徹**  
Takahashi Toru  
教授

メディア  
コミュニケーション論



### 法学部独自のグローバル・プログラム

日本とオーストラリアにおける難民収容問題について英語で主体的に研究し、理解を深めることができました。

**井上 陽太郎** 法律学科1年 / 桐蔭学園高等学校(東京都)出身

### ■ 短期海外プログラム (シドニー・アクティブ・ラーニング・プログラム)

さまざまな現場にいる多様な人々の声を聴き、多文化社会を作り上げていくために自分はどこに立ちどのような役割を担えるのか、ともに考えていきましょう。

**ニックス  
マイケル**  
Nix Michael  
教授

カルチュラルスタディーズ、  
アカデミックリテラシー



**谷 みゆき**  
Tani Miyuki  
准教授

言語学・英語学

### 英語を読む力を鍛えるだけではありません

文献を批判的に考察する力、考察の内容を発信する力がつきました。

**石川 颯大** 法律学科3年 / 横浜市立南高等学校(神奈川県)出身

### ■ 英語1・5 Reading

言語にまつわる諸問題について専門家が書いた文章を使用し、英語の読解力と効果的な発信力を養うことを目的とした授業です。



**浦谷 郁子**  
Uratani Ikuko  
助教

スポーツ哲学・倫理学

### 自ら知識を深めることができました

スポーツと栄養に関する知識を競技生活に活用できるようになりました。

**藤原 寛人** 法律学科3年 / 東海大学附属浦安高等学校(千葉県)出身

### ■ 基礎演習

スポーツと法の関わりはどこに潜んでいるのか。疑問を持ち、読解、まとめる力を根気強く、丁寧に自ら学ぶクラスです。



# 03 Global Education 法学部のグローバル教育

## グローバル化が進む世界を見据えて

世界を舞台に活躍したいという人はもちろん、近年では日本国内のグローバル化も大きく進んでおり、国内企業や法曹、公務員として働くうえでも国際感覚の修得は欠かせないものになっています。法学部では多様な留学制度をはじめとしたグローバル教育で語学力、異文化理解、国際比較、人権意識といった次世代の人材に必要な力を身につけます。

**語学力や文化・社会への理解を段階的に高める学びの仕組み**

法学部のカリキュラムでは通常の授業に加え、豊富な留学制度や研修プログラムを設置。実践的な英語力を身につけながら、国内外で有用な国際感覚を磨き上げていきます。

**なぜ留学するの？**

- 海外への興味があるから？
- 将来グローバルな仕事をしたいから？
- 将来海外で働きたいから？
- 語学を身につけるため？

**答えは…** **今までとは異なる種類の経験をして、視野を広げて、人生の選択肢を増やすため**

グローバルなことへの関心が目的とは限りません。国内で働こうと思っている人にも、役立つ経験ができます！



約1年間の留学生活を通して自分自身の価値観や背景が客観的に見えてきました

### 留学先

Rhodes College (アメリカ)

入学後に関心を抱いたジェンダー学を学ぶため、アメリカのRhodes Collegeへ留学しました。学生数が2,000人程の小さな学校なので、少人数の授業で発言を求められることが多く、そこで学んだのは、「見解が不十分でも恐れずに自分の意見を述べること」でした。受け身でいるよりも、自ら積極的に言動するほうが得るものが多いと思います。授業の準備や課題に追われる日々でしたが、授業外ではキャンパス内のイベントに参加したり、休日は友人と映画を観るなど楽しく過ごしました。慣れ親しんだ日本とは異なる環境で生活する中で、自分自身の価値観や背景がより客観的に見えてきた、有意義な留学となりました。

**3年 丸山 諒子**  
 [政治学科]  
 雙葉高等学校(東京都)出身

### 海外スタディツアー

- オーストラリア法律短期留学
- EUの法と社会
- カンボジア法整備支援と社会開発

法は、社会の反映であるとともに、社会を変える力を持っています。各々の社会は、政治、経済、歴史、文化などが異なり、多様性がありますが、相互に影響しあい、共通の課題を見いだすことができます。大学で学んだ知見が現実の社会でどのように生かされているのか、見聞した課題が、大学での学びにどのように結びついていくのか、双方向の問題意識を比較の視点を持ちながら発展させ、日本の法と社会を相対的に観察し、主体的、批判的に事象を理解することを目指します。

### 短期海外プログラム

- ILOリサーチプログラム(スイス)

フィールドワーク・リサーチと体験学習を組み合わせたスタイルをとり、将来グローバルなキャリアをめざす学生に対して、理論と実践の両面における経験と学びの機会を提供するプログラムです。また重要な資質としてのプロアクティブな姿勢、批判的思考、アカデミック・リサーチ・スキルおよび実践的な語学力の修得を目指します。



### グローバル・プログラム奨学金

グローバル・プログラム科目(海外スタディツアー、短期海外プログラム)を履修している法学部生を支援する全額給付型奨学金です。初めての留学でも安心して挑戦することができます。



### 半年間~1年間の海外体験でグローバルな視野を培う

### 交換留学・認定留学

長期の留学でじっくりと国際感覚を養い、世界で活躍するための力を身につけます。中央大学全体で展開する制度で、一部を除き留学先での修得単位が卒業単位に認定されるので長期留学を実施しても、4年間で大学を卒業することが可能な制度となっています。なお、中央大学では41の国と地域の212校(2024年1月現在)と学生交換協定を締結し、お互いの交流を深めています。



# 04. Scholarship 法学部独自の全額給付型奨学金

成長意欲に応える「やる気応援奨学金」



「お金を給付する」にとどまらない、

あなたの夢を叶える

総合的な教育プログラム

法学部生が国内外で行うさまざまな活動を支援する、法学部独自の全額給付型奨学金です。応募の際に求められるのは、自分の将来を真剣に考え、夢を実現させるために能力と自信をつけるための「やる気」と、それに基づいて作り上げる自分だけの活動計画。準備段階から面接審査、そして合格後の活動を通じてプロジェクトの計画立案能力や受給者同士のネットワークも広がります。

## 給付金額

名称	給付金額	募集人員	対象
一般部門	最高 100万円	若干名	学内外における諸活動(研究活動、社会奉仕活動、海外研修など)により、本奨学金の目的にふさわしい実績を上げることが期待される学生
海外語学研修部門	最高 40万円	60名程度	夏季休業中、春季休業中に英語圏、独語圏、仏語圏、中国語圏において、該当の言語を使用した、語学留学、インターンシップ、NGOなどの諸活動を行おうとする学生
長期海外研修部門	最高 100万円	若干名	海外の大学や研究機関などに長期間在籍して、法律学・政治学および関連学問領域の勉学に従事し、本奨学金の目的にふさわしい実績を上げることが期待される学生
法曹・公務員・研究者部門	30万円	法曹 約40名 公務員 約15名 研究者 若干名	法曹・法律関連職、公務員、研究者をめざし、目標を達成することが見込まれる3・4年次の学生。GPA条件あり
オンライン語学研修特別部門*	最高 10万円	10名程度	海外の大学等の教育機関や語学学校が提供するオンライン講座を受講する学生

\*オンライン語学研修特別部門は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度以降、特別に設置した部門です。

「やる気応援奨学金Library」で先輩達の活動実績をチェックしよう!



中央大学法学部のWebサイトでは、「やる気応援奨学金」を活用して海外で貴重な体験を積んだ先輩達の体験談を豊富に掲載しています。世界各国における先輩達の体験談のなかに、きっとあなたも共感し、憧れるエピソードが見つかるはずです。気軽にチェックして、あなたが理想とする海外での学びをイメージしてみましょう。



法曹・  
公務員・  
研究者部門

法曹へのやる気を後押ししてくれる奨学金

企業法務へ向けて経営の勉強もしたいです



弁護士を目指す上では、教材費や各種試験の受験料、ロースクールの学費など何かとお金がかかります。そこで少しでも家計の負担を減らすため、やる気応援奨学金に応募しました。そのおかげでアルバイトの時間を勉強に充てることができました。返済の心配もないので大変感謝しています。現在、関心を寄せているのは弁護士実務における国際法分野のフロンティア性についてです。グローバル化が進む現代、国際法が重要となりますが、弁護士の業務分野としては未だ確立されていません。それだけに大成する可能性を秘めています。これからは国際法の学修と並行して、実務での発展可能性についても洞察していきたいと考えています。

3年 田中 楽人 | 湘南学園高等学校(神奈川県)出身  
【法律学科】

海外語学  
研修部門

今回の海外留学を通して学んだことを

国際協力の観点から深めていきたいです

イギリス・ブライトンへの留学へ向け、やる気応援奨学金(海外語学研修部門)を受給しました。自ら計画を立て、プロジェクトへの熱意を伝えることで学修費用のサポートを得られるのは、学生にとっても手厚い制度だと思います。おかげで費用を約半分に抑えることができました。留学先の選定や現地訪問先へのアポイントの依頼など、プロジェクトをゼロから計画することで実行力も身についたと感じています。ブライトンでは大学1年次から関心があったフードバンク活動に参加、研究対象の一つである貧困について考えることができました。今後は今回学んだことを国際協力などの観点から深め、自分の進路に落とし込んでいきたいです。

3年 中尾 優作 | 都立大泉高等学校(東京都)出身  
【国際企業関係法学科】



やる気応援  
奨学金  
一般部門

Face to Faceなふれあいの大切さを

あらためて実感することができました



急激な経済成長による先進的な面と発展途上の影の面——このような二面性を持つインドはグローバル世界の縮図とも考えられます。将来、世界を跨いで活躍したい私にとって、実際に見て、体験して学ぶべき価値がある国と強く確信したため、やる気応援奨学金制度を利用してインドへ渡りました。現地ではHirameki Solutions Indiaでのインターンに加え、5回にわたり日本文化のワークショップを開催するなど、大変充実した1か月間を過ごしました。来年はオランダの大学へ留学を予定しています。高校時代から興味があった国際協力、国際関係論を、政治や法律的な考察にとどまらず、文化人類学や社会学の観点からも学んでいきたいと考えています。

4年 宇藤 梨乃 | 明治学院高等学校(東京都)出身  
【国際企業関係法学科】

# 05 Career キャリアサポートと将来の進路

## 1年次からスタートするキャリアサポート

3~4年次の就職活動に関するサポートだけでなく、法学部では1年次から学生一人ひとりが自分らしいキャリアを見つけるためのキャリア教育を継続的に行います。多様な可能性のなかから満足できる将来を描くことができるでしょう。



### 仲間と試験合格をめざす

難関の国家試験合格に向け、勉学に励めるよう法職茗荷谷研究室、公務員茗荷谷研究室などを設置しています。学生たちが共通の目標に向かって切磋琢磨し、人間性を高める場ともなっています。



### ■ 少人数で展開される司法試験対策

課外講座として「法職講座」を実施しています。弁護士や司法試験合格者、法科大学院生等が講師となり、効率的に学べる工夫されたカリキュラムを展開。学外の予備校などに通う必要なく、きめ細やかな指導と手厚いサポートを受けることができます。



## Pick up

### 細やかな指導で 司法試験合格を支える 課外講座「法職講座」

入学直後の学研連合同対面説明会で法職講座を知りました。本講座では基礎知識を学ぶ基礎講座、答案の作成方法を学ぶLTゼミ等の授業があり、これらを通して司法試験合格のために必要とされる基本七法の知識を修得することができます。また、月3回まで答案の添削を受ける機会があるので、自らの勉強の方向性を適宜修正していくのに役立ちます。法曹三者にはそれぞれに魅力があり、私は将来どの職業に就くべきかを考え続けています。もっともいかなる職業に就くにしても、「法律を通して社会の支えになりたい」との思いは継続して持ち続けており、そのために今のうちに十分な知識を修得したいと考えています。



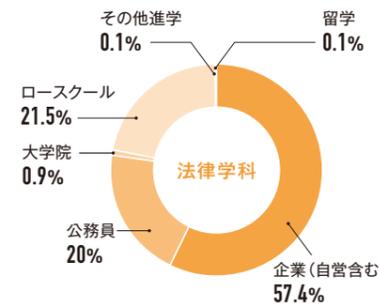
3年 藤本 耕平 | 名古屋市立菊里高等学校(愛知県)出身  
法律学科

法職講座を通して出会う同志の存在も  
司法試験合格へ向けた力になります

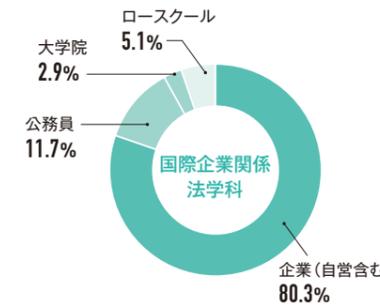
## 法曹・公務員から一般企業、マスコミと幅広く活躍

中央大学法学部は、法科大学院への進学、公務員試験、企業への就職において、他大学と比べて優位にある進学・就職実績を誇っています。その理由は「キャリアセンター」による全学的なキャリア支援に加え、法学部内で1年次から継続して行われるキャリア教育にあります。

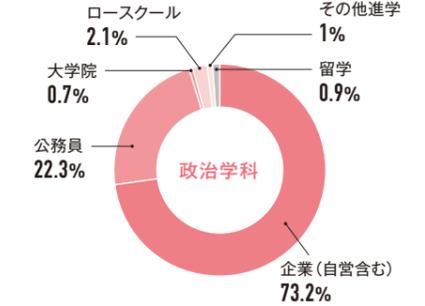
### 2023年度 卒業生 主な進路・就職先



東京都庁/国土交通省/高等裁判所/法務省/埼玉県庁/国土交通省/法務省 検察庁/愛知県 名古屋市役所/東京都 新宿区役所/神奈川県 横浜市役所/(株)NTTデータグループ/トヨタ自動車(株)/(株)キーエンス/(株)リソナホールディングス/ソフトバンク(株)/東日本旅客鉄道(株)/本田技研工業(株)/(株)野村総合研究所/(株)リクルート/楽天グループ(株)



東京都庁/外務省/財務省 財務局/埼玉県庁/埼玉県川越市役所/東京都 武蔵野市役所/(株)ベネッセコーポレーション/住友生命保険(相)/(株)リクルート/(株)オリエンタルランド/(株)スポーツニッポン新聞社/(株)サイバーエージェント/楽天グループ(株)/TOPPANホールディングス(株)/本田技研工業(株)/(株)キーエンス/全日本空輸(株)/サントリーホールディングス(株)/アビームコンサルティング(株)/農林中央金庫



東京都庁/国税庁/文部科学省/国土交通省/埼玉県庁/海上保安庁/神奈川県庁/東京都 中野区役所/神奈川県 川崎市役所/埼玉県 さいたま市役所/(株)タカラトミー/(株)サイバーエージェント/(株)エヌティティ・データ/トヨタ自動車(株)/デロイトトーマツコンサルティング(同)/日本航空(株)/(株)東洋経済新報社/日本テレビ放送網(株)/東海旅客鉄道(株)/弁護士法人アディール法律事務所

注:主な就職先は順不同です。

### 司法試験・法科大学院進学・公務員試験実績

#### ●中央大学法学部在籍時合格者数(2023年度司法試験)

司法試験合格 **2**名

#### ●法科大学院別進学者(2023年度) 注:5人以上進学実績のみ掲載

東京大学法科大学院	44	早稲田大学法科大学院	20
中央大学法科大学院	41	東京都立大学法科大学院	6
慶應義塾大学法科大学院	30	名古屋大学法科大学院	5(人)

#### ●学部在籍時 司法試験予備試験合格者(2023年度)

1 東京大学	103
2 慶應義塾大学	46
3 京都大学	26
4 <b>中央大学</b>	25
5 早稲田大学	22(人)

#### ●地方公務員就職者(2023年度) 注:2人以上の就職者自治体のみ掲載

東京都庁	33	東京都 杉並区役所	3
厚生労働省	11	東京都 中野区役所	3
国税庁	8	愛知県 名古屋市役所	2
神奈川県 横浜市役所	8	家庭裁判所	2
総務省	8	警察庁	2
高等裁判所	6	厚生労働省 労働基準監督署	2
地方裁判所	6	財務省	2
農林水産省	6	財務省 財務局	2
防衛省	5	財務省 税関	2
警視庁	4	東京都 板橋区役所	2
国土交通省	4	東京都 文京区役所	2
埼玉県庁	4	東京都 豊島区役所	2
法務省 検察庁	4	群馬県庁	2
気象庁	3	他	(人)
神奈川県 川崎市役所	3		

#### ●国家公務員総合職合格者(2023年度) 注:私大のみ掲載

1 早稲田大学	96
2 立命館大学	78
3 <b>中央大学</b>	68
4 慶應義塾大学	51(人)

### 法解釈や法令用語は特殊な世界

### 法学部で得た知識は日々の支えになっています

Q.現在の仕事を志望した理由は何ですか？

A.内閣府の防災担当で、所管法律である災害対策基本法の解釈や防災担当が立案する法令等の審査といった、法令関係業務を行っています。私が現職を志望した理由は、社会に大きなインパクトを与えられるところにシンプルな魅力を感じたからです。在学中に受けていた法律・行政系の講義を通じて、日本が直面している課題が多様かつ困難に満ちたものであることを知り、その解決に携わりたいと考えていた自分にとっては最適な選択だったと思います。

Q.大学時代の印象的な思い出は何ですか？

A.ゼミです。普段の活動はもちろん大切ですが、教授やメンバーと他愛のない話をしたりお酒を飲み交わしたり、そういった何気ないひとときも良い思い出になっています。授業やアルバイト、部活、サークル等で忙しくなると思いますが、ゼミは大学時代にしか経験できない貴重な機会ですので、積極的に参加することをおすすめします。

内閣府 勤務 **小林 鉄** | 2018年 卒業  
都立井草高等学校(東京都)出身



### 答えは現場にある——

### 何気ない会話の中から課題解決のヒントを探ります

Q.現在の仕事を志望した理由は何ですか？

A.大学進学を機に地元を離れ、外から岩手県を見たことで地域資源の豊かさや魅力を再認識し、それらを後世や国内外に伝えていくとともに、地域振興に携わっていきたいという思いが強くなりました。また、在学中にさまざまな地域課題・社会問題に触れ、実際に取り組んでみたい分野が多かったため、部局を越えて幅広い業務に携わることができる県職員を志望しました。

Q.仕事をするうえで心がけていることは？

A.東日本大震災から復興に向けた道のりはまだ半ばですが、自分が携わった事業により事業者が目標に向かって一歩前へ踏み出すことができたり、経営力の向上に取り組んだりしている様子を見聞きすると大きなやりがいを感じます。何気ない話の中に課題解決のヒントが隠れていることから、「答えは現場にある」という意識を常に持ち、地域の人々と積極的にコミュニケーションを図るよう心がけています。

岩手県 勤務 **吉田 沙織** | 2018年 卒業  
県立盛岡第一高等学校(岩手県)出身



# Graduate's Voice

諸分野で活躍する  
卒業生

### 相談者のニーズに向き合い

### 大局観のある対応策を示すことを心がけています

Q.現在の仕事についてお聞かせください。

A.大手広告代理店法務部への出向を経て、現在は事務所の弁護士として知的財産、スポーツ・エンターテインメントの分野を中心に取り組んでいます。顧問先企業やスポーツ競技団体への助言、契約・紛争の交渉、訴訟代理等に加え、今後開催される国際大会の運営へ向けた法的サポートも提供。案件の全体像や相談者のニーズ、核となる問題点を推察し、大局観のある対応策を具体的に示すことを心がけています。

Q.大学時代の印象的な思い出は何ですか？

A.大学時代は体育連盟水泳部に所属していました。水泳の練習でも、司法試験の勉強でも、「人事を尽くして天命を待つ」ことを実践。個人の目標は叶いませんでしたが、全日本の大会で決勝に残り、また日本学生選手権では団体二連覇、リレーでの優勝を果たすことができました。目標に向かい、自分にはない魅力と才能を持った仲間と共に真剣に過ごした日々は、人生においてかけがえのない財産になっています。

TMI総合法律事務所 勤務 **平 龍大** | 2013年 卒業  
北海道岩見沢東高等学校(北海道)出身



### 多くの時間を過ごした炎の塔の研究室

### 大学時代の出会いは私の一生の財産です

Q.現在の仕事を志望した理由は何ですか？

A.卒業後は社会貢献できる仕事に就きたいと考えた中で、民間企業では必ずしも実施されていない業務を使命とする独立行政法人の取り組みに魅力を感じました。また、実家が薬屋を営んでいたことから、労災病院を運営している当機構であれば、幼い頃から馴染みのある医療にも携われると思い、入構を希望しました。現在は本部において、アスベスト疾患の診断方法に関する研修の運営事務を担当しています。

Q.受験生へメッセージをお願いします。

A.大学時代は自由を謳歌できる貴重な時期、私は多くの時間を\*炎の塔の研究室で過ごしました。中央大学にはやる気を後押ししてくれる環境が整っているので、そのサポートを存分に活用して充実した学生生活を送ってください。受験生活で先が見えずに暗闇を感じる時にも、自分の足元を確かめ、着実に一歩ずつ進んでいけば、きっと進むべき道に辿り着けるはず。応援しています！

\*現 茗荷谷キャンパス 学生研究フロア

独立行政法人 労働者健康安全機構 勤務 **河村 圭子** | 2012年 卒業  
道愛女子高等学校(北海道)出身





特大教室

学生食堂

東京都文京区に構える、中央大学法学部の都市型キャンパス。

# 茗荷谷キャンパスへようこそ。

Introduction of  
Myogadani Campus

## ひろがる、つながる、ふかまる

135年以上の伝統と実績を受け継ぎ、「**「実地應用ノ素ヲ養フ**」という建学の精神のもと、引き続き、新たなキャンパスで地球的な視野に立った法的問題意識と法的問題解決能力を備えた人材を養成します。

Pick up



## 茗荷谷 スチューデントハブ

MSH Myogadani Student Hub

MSHは、学内のさまざまなサービスを学生のみなさんにワンストップで提供する、相談・手続きの窓口です。そして、学生同士、学生と学生団体とをつなぐ、創造的出会いの場でもあります。



### MSHでできる相談・手続き

- キャリア支援
- 各種奨学金
- 教職課程
- 全学的教育プログラム (FLP)
- 留学、外国語学習の支援
- 経理研究所講座
- ライティング・ラボ
- ボランティア活動

# 駅ちか・都心型キャンパスで新しい時代を切り拓く。

茗荷谷キャンパスは東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分。池袋駅まで2駅、その他主要駅にも30分以内というアクセスの良さ。都心ならではの利便性抜群の立地です。



4階：法学部図書館



5階：屋上庭園前ラウンジ



日本と世界の未来を創るために必要な

「リーガルマインド」を身につけることができます。

1

## 法学部生と卒業生との交流が密に

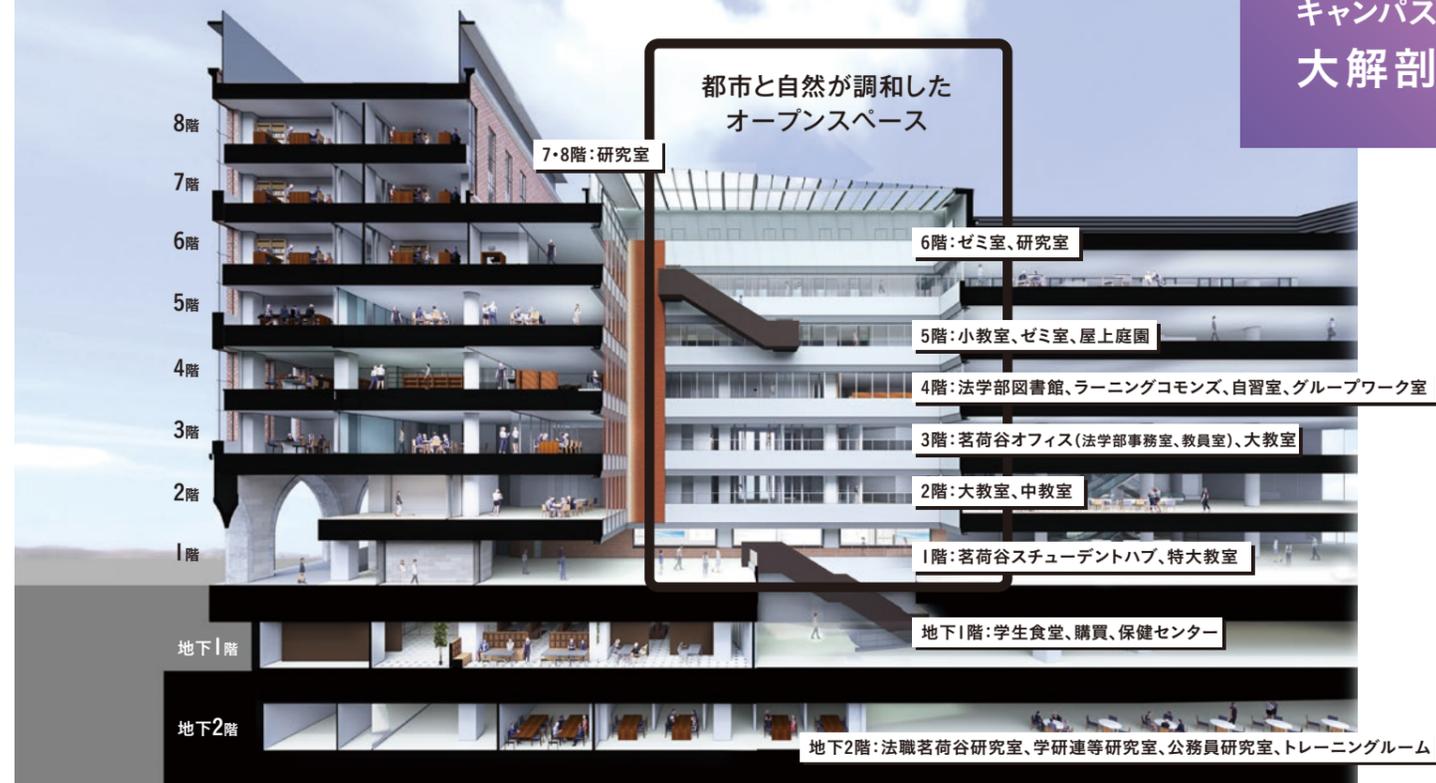
法学部の茗荷谷キャンパスへの移転(2023年)と同時に、法科大学院(ロースクール)は駿河台キャンパスに移転。両キャンパスは地下鉄で3駅という近接した位置関係となり、これまで以上に卒業生との交流が増えるなど、法曹教育の環境が充実しています。



2

## 学びのフィールドはさらに拡大、学びのかたちもより充実

法学部が都心に移転することにより、後楽園キャンパスの理工学部、市ヶ谷田町キャンパスの国際情報学部の3学部が、文理横断型の共同開講科目である「学問最前線」を開講。3学部共同開講科目で、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養います。さらに、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を招いた講義を、積極的に展開していきます。



茗荷谷キャンパスの外観は、中央大学の前身である英吉利法律学校の赤レンガ造り校舎をモチーフとしつつ、低階層には、旧駿河台校舎と同じ尖頭型アーチを取り入れ、伝統的かつ端正な様相のなかにも、開放感のある空間です。教室は遠隔授業やハイブリッド型授業に対応。図書館や食堂は、創立者が学んだイギリスのミドル・テンプルをモチーフとしたインテリアで統一されています。大学施設のほか、文京区の地域活動センターや保育所なども併設され、地域との共生、地域への貢献を実現しています。

学びのチャンスを広げるアクセシビリティ

Pick up

思い描く将来を引き寄せてモチベーションをUP!

## 法廷傍聴会



法曹界や法律家を目指す学生に人気のイベント  
実際の裁判を肌で感じることができる貴重な機会

法廷傍聴会は、\*中央大学法曹会と中央大学法学部が共同で実施しているイベントです。実際に刑事裁判を傍聴した後、その事件の内容や裁判の進行等について弁護士の先生から解説していただけます。講師を務めるのは中央大学法学部および中央大学法科大学院を卒業・修了した現役の弁護士などで、質疑応答の時間も設けられています。2023年度は霞ヶ関の東京弁護士会館にて開催、抽選の結果26名の本学部生が参加しました。

\*中央大学卒(ロースクール含む)の法曹実務家の団体

中央大学  
法学部へようこそ



Message

法学部長からの  
メッセージ

伝統的であり、かつ、未来志向的な学問

法学部で学ぶということは、何を意味するのでしょうか。そこには、法・政治に関する知見を身につけて、法の専門家を目指すという目的があるように思います。ただし、ここでいう「法の専門家」とは、決して狭い領域を意味しません。実際に、法学部の卒業生は、法曹（裁判官、検察官、弁護士）に進む者だけではなく、ビジネスパーソン、公務員や政治家、国際機関の職員、教員やジャーナリスト、技術者や開発者、研究者など、様々な分野で活躍しています。

法の学びは、もちろん、今ある法を理解し運用することができるようになることだけではありません。社会は、常に変化をし、そして問題を抱え続けています。特に近時では、人と物の区別が曖昧になり、格差が拡大化し、難しい外交問題が横たわり、あらゆる局面で人権が脅かされ、環境への配慮が急務となっています。今までの法では対応できない問題がたくさん露呈しています。そのような中で、未来志向的に「これからあるべき法」を模索し、社会に提言できるようになることも、法律学・政治学と向き合う者の役割です。

中央大学は、1885年に英吉利法律学校として創設されました。それ以来、法学部は140年近くの間、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を受け継ぎつつ、今に至っています。2023年4月に茗荷谷キャンパスへの移転を果たしましたが、今後も変わらず、発展を続けます。これまで、そしてこれからも、それぞれの学生が、多様な目的や問題意識を持ち、また、等しく熱意や志を持つ学びの場です。伝統ある法科の中央で、未来志向的に、法律学・政治学を存分に学んでいただきたいと心から願っています。

交通アクセス

